

# 患者さんの対応に困った時

## —看護師・心理士のためのリエゾンコンサルテーション基礎知識—

### 【概要】

一般病棟で患者さんの対応に困る時、看護師と心理士とのコミュニケーションにおいて、お互いの考えや意図が十分に伝えられなかったり、必要な情報が収集できなかったりという経験はありませんか？ これはどちらかの対応に問題があるといった類のものではありません。看護サイドの伝えたいことと、心理士サイドの知りたいこととが必ずしも合致しないことによって、コミュニケーションがうまくいかないということもあるのではないのでしょうか。

今回は、ある仮想症例をもとに看護師と心理士それぞれがどのような点に留意しながら情報を伝えたり収集すべきなのかについて、実際のやり取りを通してワークショップ形式で学んでいきます。後半には、それぞれの職種に必要な知識や目の付け所などについて講義を行い一定の到達点を提示する予定です。

※昨年度の教育研修会と同内容となります

2012年12月1日(土) 15:00-18:00

大田区産業プラザ(第25回日本総合病院精神医学会総会:B会場)

### 【プログラム】

① 研修会の開催目的・枠組みについての説明(10分)

担当: 満田大先生(三井記念病院)

② 症例検討のワークショップ(100分)

仮想症例: 『がん治療中で、死にたい気持ちを訴える患者さん』

全体ファシリテーター: 小林清香先生(東京女子医大病院)

※休憩(10分)

③ 講義・質疑応答(アンケート含む)(60分)

A. 看護師向け講義 担当: 福嶋好重先生(横浜市立市民病院)

✖ 精神科専門職へのコンサルテーションの枠組み

✖ 精神科専門職へ依頼してほしいエピソード

✖ 精神科専門職へ伝えてほしい患者の情報

B. 心理士向け講義 担当: 満田大先生(三井記念病院)

✖ リエゾンコンサルテーション特有の二重構造の枠組み

✖ 身体疾患患者の心理的見立てにおいて、除外すべきポイント

(せん妄や薬剤の影響など)

# 《 募 集 要 項 》

## 開催日時

2012年12月1日(土) 15:00-18:00

## 場所

大田区産業プラザ(第25回日本総合病院精神医学会総会:B会場)

## 対象

一般科看護師(実務経験が2-3年~10年以内の方)

心理士(リエゾン医療の現場での経験が少ない方)

## 定員

看護師・心理士 各30名程度

## 参加費用

本研修会の参加は無料ですが、日本総合病院精神医学会総会参加費(6,000円)が必要となります。参加費をお支払頂くことで、リエゾンコメディカル委員会主催のシンポジウム『リエゾン精神看護活動と精神科リエゾンチーム加算』の他、学会の全プログラムに参加して頂くことが可能です。

## 応募方法

日本総合病院精神医学会事務局内 リエゾンコメディカル委員会教育研修会担当 小川宛  
(FAX 03-5805-3720) まで、氏名・所属・経験年数(心理士の方は週〇日×〇年のよう  
に記入)・連絡先住所(電話・FAX含む)・  
電子メールアドレス明記の上、FAXにてご応募下さい。



応募者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

日本総合病院精神医学会リエゾンコメディカル委員会  
教育研修会オーガナイザー  
満田 大(三井記念病院)  
日本総合病院精神医学会・事務局  
〒113-0033  
文京区本郷 2-14-4-201  
TEL/FAX 03-5805-3720